

VNN = Shimin-Rengo Volunteer Network News, 第17号

市民・連合ボランティアネットワークセンター事務局編集

発行:東京:市民・連合ボランティアネットワークセンター事務局, 1996.4.17. - 7p ; 26cm

請求記号:震災-7-z31

移送サービススタート!

[写真あり (日産労連寄贈:日産セレナ,自動車総連寄贈:三菱デリカ) 省略]

■ポートアイランド仮設にて移送サービススタート!!

神戸中央・助け合いネットワーク:高橋度(わたる)

東灘、神戸西事務所に続き神戸中央事務所に於けるポートアイランド仮設住宅にて待望の移送サービスがスタートします。

[写真あり 省略]

4月2日ポートアイランド第1仮設住宅「さくら」ふれあいセンターにて移送車両のキー贈呈式とテスト運行が行なわれました。

当日は「連合兵庫」佐藤副事務局長、「中央区役所」中島主査、「水上警察署」金丸所長、当ネットワークより、「東灘・地域助け合いネットワーク」中村代表、「神戸西・助け合いネットワーク」在里代表、「神戸中央事務所」より高橋、井上、新しく移送サービスリーダーの運輸労連OBである堀尾氏、「ポートアイランド第1仮設住宅」庄野自治会長及び役員の方々、移送サービス会員メンバーの皆さんなど、大勢の関係者方々が参加され、移送サービスのスタートを祝いました。

神戸市中央区ポートアイランド仮設住宅は、第1から第7まで合計3100戸の仮設、神戸市最大規模の約7000名の被災者が震災1年を経過した現在でも、毎日不自由な生活を過ごしています。特に第1、第2仮設住宅は高齢者の方々が大半を占め、通院や買い物に最寄りのポートライナー市民病院前駅まででさえ、徒歩約20分から30分かかっています。

そのような被災者の方々の困難な状況に支援を行なっている「市民・連合ボランティアネットワーク」に、暖かい支援を組織として決定いただいたのは、労働組合「連合」傘下の「自動車総連」と「日産労連」の両組合です。自動車総連様よりは「三菱デリカ」、日産労連様よりは「日産セレナ」と、各1台ずつ新車の車両寄贈を受けました。

移送サービスは当面、月、金の週2日、午前中と午後で送迎サービスを開始し、今後活動の幅を徐々に広げ、より多くの被災者利便に展開していく予定です。

またこのことは、地元マスコミにも大きく取り上げられ、サンTVの夕方ニュース、翌日の神戸新聞等、各方面から注目され今後の活動が強く期待されています。

[写真あり 省略]

被災地神戸へ鯉のぼりをご寄付下さい！

神戸の河川3カ所で、5月5日子供の日に、鯉のぼり祭りを企画しています。ぜひ、ご協力ください。

押し入れの奥に眠っている鯉のぼりはありませんか。
もし、ありましたら、神戸へご寄付いただけませんか。

仮設住宅にお住まいの皆さんをはじめ、被害にあった方々に、お元気になっていただこうと、市民・連合ボランティアネットワークで企画しています。

新品である必要はありません。かつて悠々と泳いでいた鯉のぼりを、被災地神戸の空に泳がせ、被災者の方々に勇気付けてあげてください。

目標：200匹

- 条件：
- 1) ポールや風車は不要。
 - 2) できれば、ナイロン製やシルクタッチ製を希望
 - 3) 恐れ入りますが、郵送料もご負担願います。
 - 4) 4月25日までに必着

送り先：〒650 神戸市中央区中山通4-17-34

神戸中央・助け合いネットワーク（市民・連合ボランティアネットワーク中部事務所）

電話078（271）0517

協力：関西電力、兵庫県社会福祉協議会

挿絵：クラリスインパクト（イラスト集）より[イラストあり 省略]

■中国新疆ウイグル自治区地震救援情報

NVNAD（日本災害救援ボランティアネットワーク）発信のFAX情報より許可を得て転載

中国新疆ウイグル自治区地震救援開始のお知らせ

第3号

1996年3月24日20：00

NVNAD

日本災害救援ボランティアネットワーク代表伊永勉

[被害状況]

1996年3月20日午前0時（現地時間19日午後11時）中国新疆ウイグル自治区に発生した地震（M6.9）は、人民日報（3月22日付）によると、最も大きな被害を受けた伽師県だけでも死者24名、重軽傷者128名、倒壊家屋約15, 131戸、家畜小屋9, 796屋、死亡家畜6, 350頭、20数キロにわたって県道を破壊するという被害をもたらした。46の小学校が休校となり、被災者は3万人にのぼっている。

具体的な経済損失は約1.3億元（約1, 100万円）と推定。周辺の3村も被害を受けた。自治区党委員会と人民政府の震災救援チームが現地に入り、震災地区の救援活動は開始した模様。

[NVNADの活動状況]

22日09:05 駐日中国大使館靴(ホー)1等書記官に、救援活動開始を通知。同大使館から、「雲南省でも救援物資の対応に苦慮したので、やはり支援金が一番役立つ」と回答を頂き、今後も連絡を取り合うことを約束。

10:05 国際緊急援助隊(JDR)、外務省国際緊急援助室、日赤国際部に、救援活動開始を通知。同日駐日日本大使館経済部災害担当者に、救援方法を通知し、今後情報交換を行なう。

23日18:10 中国赤十字にNVNADの救援方法通知と救援申し出を行ない、返答を待っている。

「民間ボランティアグループ・ネットワーク下田より、静岡を中心に地元FM局等で支援金募集を呼びかけるとの連絡入る。現在NVNADとしては、現地で救援活動を行なうボランティア等の活動支援、及び現地が必要とする救援物資の現地調達費用のため募金を行ない、その救援物資調達方法と輸送手段、及び派遣ボランティアの支援方法等、各連携団体とも情報を交換する。

支援金募集にご協力下さい

銀行 さくら銀行西宮支店
(普通預金) 6987630
日本災害救援ボランティアネットワーク又は、
NVNAD

郵便 記号14380番号57292711
局 日本災害救援ボランティアネットワーク代表伊永勉
[中国] と付記して下さい

インドネシア支援と中国支援の支援金振り込み口座が同じになりますので、『インドネシア』か『中国』を特定される方は、その旨をNVNADまでお電話でお知らせ下さい。

[お問い合わせ先]

NVNAD日本災害救援ボランティアネットワーク

電話番号0798-36-9540・9541・3693

FAX番号0798-36-4392

■“ふれあいお風呂ツアー”

西宮・地域たすけあいネットワーク

代表：牧野史子

3月16日(土)、前日の雨が嘘のように晴れ渡り、絶好の旅行日和となりました。皆さん、この日を楽しみにされてた様子。ちょっぴりおめかしをして、ニコニコと我々の到着をお待ちかねでした。3カ所の仮設から4台の車を連ね、総勢24名(内ボランティア5名)の一行が、「かぶとやま荘(日帰り保護施設)」目指して出発しました。

コースは甲子園の浜から2号線を西へ、夙川沿いを通って一路甲山へ、西宮市内を南北に抜けます。車窓からみえる景色に「ここは〇×がありましたねえ」「桜の頃はいつもここに来ていましたわ」と皆さん懐かしい場所に思いを

馳せ、会話もはずんでおられました。（道のり、皆さんが震災前にお住まいになられてた場所を通過したため、思わぬ被災地見学ツアーになりました。）

やがて、ひんやりした空気の山の上へ到着。一息ついた後は、念願の温泉へ。ほどなく頬を上気させ、口々に「いいお湯だった」と皆さん満足げに戻ってこられました。

昼食のうどん定食をいただいた後は、仮設間の交流をかねて自己紹介など。はじめはぎこちなかった雰囲気も徐々にうちとけあい、聴くばかりだったカラオケにも進んで申し出て唄ったり、なかには他のグループに混じって「しゃこ踊り」（我々もはじめて見ました！）を披露される方もとび出して、すっかりリラックスされた様子。そうこうしている間に、帰りの時間となり、余韻を楽しみながら、「かぶとやま荘」を後にしました。

帰りの際に「本当に今日は命の洗濯ができました。楽しかった。どうもありがとうございました。」と手を握って別れたおじいちゃん。ジンと胸があつくなる思いでした。

ほんのひとときでしたが、皆さんの体と心を癒すお手伝いができて、一同うれしい限りでした。特に普段家にこもりがちな御主人を“大好きなお風呂”ということで連れ出すことができたことと喜んでおられたおばあちゃん。（御夫婦連れのいたわりあう姿が印象的でした。）

[写真あり 省略]

我々ボランティアもちょっぴり楽しませていただきながら、皆さんグッとお近づきになれたこと（“人生”も語り聞かせていただきました）など、実り多い“お試しツアー”でした。

（このあと、参加された方々から次回も是非！とうれしい予約が入りました。）

今後もより多くの方に参加していただけるよう計画中です。（それにしても我が男性ボランティア諸君の甲斐甲斐しい働きぶりには脱帽！お年寄りばかりの施設に、若い息吹を吹き込んできました。）

[写真あり 省略]

■check！ check！ お知らせ

★発表：ロゴステッカーできました。

市民・連合ボランティアネットワークでは、以前より市民・連合VN（Volunteer Network：ボランティアネットワーク）、VNN（Volunteer Network News：市民・連合VNニュース）をロゴとして用いていますが、このロゴが格好いいので車などに貼りたいと多数の方からご要望がありました。そこで、この度ステッカーとしてロゴを作成しました。

神戸ではすでにこのロゴの入った市民・連合VNの移送用車両やロゴ入の防寒パーカーなどがあり、非常に人気を博しています。また、ボランティアの方々にも非常に好評で、このロゴはボランティアの一種のステータスになっているとか、いないとか...

ステッカーがご入り用の方には、悪用しない方に限って（?!）、無料でご提供したいと思います。（※車にステッカーを貼ったからといって駐車禁止は免除されませんのであしからず。）おっと、外野からクレームが入りました。「無料より、高いものはない！目に見る形の被災者支援参加方式にしてください」とかで、カンパ/寄付で任意の代金受付けます。（ご参考までに：製作費原価+郵送費=¥500です。それ以上の分は、被災者支援活動に使わせていただきます。）ご希望の方は、どしどし市民・連合VNセンター事務局にご連絡ください。※先着500名様まで。（同封の振込用紙にて、送金、ご記入下されば確実にあなたのお手元に届きます。）

極秘情報?!：消息筋によると、夏に向けボランティアの方に着ていただくロゴ入りTシャツ1,000着の作成計画ありとのこと。前面にイラストをあしらひ、背面にロゴが入るデザイン。デザインの詳細は不明だが、イラストを公募するとともに...。ロゴ入りTシャツに関して、市民・連合VNセンター事務局に問い合わせたところ、ノーコメントと回答あり。

※「市民・連合VN」及び「VNN」のロゴ著作権は、市民・連合ボランティアネットワークに帰属します。無断による転載・コピーはお断りしております。

■●カンパ／寄付の御礼

カンパ／寄付／物資提供を頂いた皆様、誠にありがとうございます。

また、大阪のゴルフショップ「アスペン」様より関西デジタル携帯電話20本を神戸中央・助け合いネットワークへ寄贈いただきました。

内携帯電話10本を仮設自治会用にお渡ししました。

さらに、Seiden流通センター様より冷蔵庫、洗濯機等の電化製品のご提供を神戸西・助け合いネットワークに頂き、仮設の需要に応えることが出来ました。

皆様、重ね重ねありがとうございます。

市民・連合VNは皆様のお力添えによって被災者支援活動ができています。被災者の方々の感謝の言葉はこれすべて市民・連合VNにご協力頂いた皆様への言葉です。

被災者の方々に代わりまして、厚く御礼申し上げます。

◆今回、物資提供をいただいた皆様

神戸市中央区港島の宮内様、

◆今回、カンパ／寄付をいただいた皆様

神奈川県松尾様、世田谷区の佐藤様ありがとうございました。

■VNN記事掲載について

『VNN』では各種団体のイベント、シンポジウム、団体情報等を掲載しておりますが、毎月2回（1日、17日）と非常に短い期間でHOTなニュースを発信しております。

毎号とも編集／印刷／発送作業にトータルで1週間かかりますので、掲載してほしい記事がございましたら、発行日（1日、17日）の1週間前まで（例：31日の月では、10日、24日まで）に市民・連合VNセンター事務局VNN編集部坂井までFAXで原稿記事を送信下さい。また写真がある場合は、1週間前以前に速達でお願いします。それ以降に原稿記事が届いた場合は、次号掲載に見合わせて頂くこともあります。

送信先：市民・連合VN センター事務局 VNN編集部 坂井

FAX 03-5294-2486 TEL 03-5294-2489

住所 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 3F

●大訂正

前号（16号）の「春物衣料物資提供のお願い」欄で神戸西・助け合いネットワークの住所と電話&FAX番号を間違えて、神戸中央・助け合いネットワークの住所と電話&FAX番号を記載しました。

ご迷惑をお掛けした関係の方々、誠に申し訳ありません。「春物衣料物資提供」は神戸西・助け合いネットワーク下記連絡先へお願いいたします。

◎春物衣料物資提供は...

神戸西・助け合いネットワーク／担当：大石

(正) 〒654 神戸市須磨区松風町4丁目2-26 ハートふる須磨内

TEL 078-737-0596 FAX 078-737-0598

(誤) 〒650神戸市中央区中山手通4-17-34

TEL 078-271-0517 FAX 078-271-0518

これは「神戸中央・助け合いネットワーク」の住所・電話&FAXでした。

編集後記

今回の編集を終えて... (今回は杉山君にお願いしました。：坂井)

只今4月9日(火)午前11:10、天気晴れ。そよ風が適度に吹き、「これこそ日本の春だ!!」と言わんばかりの小春日和です。しかし、残念なことにごセンター事務局の事務所には窓というものがないため、頭の中でしか春を堪能出来ず、窓のあるオフィスを見ては、ただため息が出る今日この頃です。

春といえば、桜。桜といえば、お花見ですが、そのお花見シーズンが終わる頃に今度は「子供の日」がやって来ます。当ネットワークでも5月5日に鯉のぼり祭を実施しますが、このような伝統行事が失われつつある今日、こうした行事が行なわれることを個人的に楽しみにしております。当日、神戸の希望を乗せた鯉が元気に泳いでくれますように...。(杉山寿英)

(c) 1996市民・連合ボランティアネットワークセンター事務局 (デジタル化：神戸大学附属図書館)